

「どんまい どんま〜い」の発行を続けて七十号になった今私の思いです。

七十号という節目の発行で正直、よくここまで継続出来たなあと思っています。

まもなく丸六年になります。

何が何でも五年は絶対継続させてやるぞ。

「やっぱり継続出来なかったね」なんて絶対言われられないようにするぞ。という決死の覚悟でした。スタートする時は、写真を載せるやり方さえわからず、ただなんとかしたいという思いだけでした。パソコンの操作方法も何もわからない私が本当にやれるのか不安に向き合ったの発行でした。試行錯誤の繰り返しで、文字の色をいろんな色にして目立たせようとしたり、四回目からは欲張って四ページにしたりして毎月、「どんまい どんま〜い」を発行する事ばかり考えていました。健康についてはしばらく連載させて頂きましたが、私の私感が強く、真実なのかどうか疑問視される事もあり、途中から健康についての話しは封印する事にしました。

それからようやく現在の形の仕事についての事だけの二ページに落ち着きました。

仕事についてだけに絞った事で、一時は毎月継続するネタが思い浮かばなくなり、本当に苦しんだ時期もありました。

来月号が全く出来ない。もう今月号で終わりにしようかと思った事も何度もありました。

そんな時、お客様に「どんまい いいね。毎月楽しみにしてるよ。これからも楽しませてね」

とか「先月号の武田さんの気持ちよくわかるよ。私も同じような事があったからね」とか

「今回の話は商売の原点のような話で朝礼で社員全員に話しました」等、沢山の感想を頂きました。

このお客様からの励みが無ければ今まで継続は出来なかったと思います。

五年が過ぎた頃からは、気張る事もなくなり、日頃の自分と向き合う事から感じた事をまとめるように心がけました。

そうしたら不思議と毎月のネタ探しをしなくても書けるようになり、肩の力が抜けたような気持ちになりました。

「どんまい どんま〜い」を、がむしゃらに継続する事によって、いつの間にか日々の生活の中で自分を見つめる事が当たり前になっていました。例えばつらい事があると、今、自分に降りかかる苦しみは何の為に自分に降りかかっているのか。自分はこれからこの苦しみとどう向き合って生きて行かなければならないのか。

どうすれば自分の使命が果たせるのか。

今の自分の境遇と重ねて常に前を向いて突き進んで行きたいと思うようになりました。

日々楽しくおかしく生きる事よりも、自分が生きたあかさを自分の周りの人に残して行きたいと思うようになりました。

自分の「どんまい」に感謝です。 武田英昭

編集後記

天野様、おいしいメロン本当にありがとうございました。天野様の気持ちを大切に仕事に励んで行きたいと思えます。

∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

何事も継続は力なりと言われていますが、これからも「どんまい どんま〜い」を継続して自分と向き合っていきたいと思っています。これからもお付き合い下さいませ。武田英昭

“どんまい どんま〜い”を読んでいかがだったでしょうか。「あなた」の感想をお聞かせ下さい。

電話 023-644-5633 FAX 023-644-5663

Eメール takeda02-ht@yamagata.email.ne.jp

武田英昭までお願いします。
どんな事でもいいです。
是非ともおねがいします。

待ってま〜す。

